

平成 23 年 6 月 7 日  
内閣府公共サービス改革推進室

## 大学入試センター試験の出願受付業務・成績開示業務の評価について（案）

競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成 18 年法律第 51 号）第 7 条第 8 項の規定に基づく標記事業の評価は以下のとおりである。

### I 事業概要等

#### 1 実施の経緯及び事業の概要

独立行政法人大学入試センター（以下「センター」という。）が実施する大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）については、公共サービス改革基本方針（平成19年12月24日閣議決定）において、競争の導入による公共サービスの改革に関する法律（平成18年法律第51号）に基づく民間競争入札（以下「民間競争入札」という。）を実施することを決定した。

これを受けてセンターは官民競争入札等監理委員会の議を経て定めた「大学入試センター試験の出願受付業務・成績開示業務 民間競争入札実施要項」（以下「実施要項」という。）に基づき、民間競争入札を実施して受託事業者を決定した。その概要は以下のとおりである。

事 項	内 容
業務内容	センター試験における出願受付業務、成績開示業務
契約期間	平成21年10月 1 日から平成24年 4 月30日まで
受託事業者	教育測定研究所 共同事業体 ・株式会社教育測定研究所 ・大日本印刷株式会社 ・株式会社エヌアイディ ・株式会社埼玉電算センター
契約金額	462, 000, 000円（税込）
確保されるべきサービスの質	(1)出願受付業務 ①受付案内の印刷・送付作業 イ) 印刷・製本・梱包・送付を仕様書どおりに行うこと。 ロ) 送付に当たり、指定の場所、部数、期日を厳守すること。 ②試験室データの作成作業等 イ) 仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。 ロ) データの精度について、初回納品時の誤入力率を2%以内とすること。 ハ) センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。 ニ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。 ③出願関係郵便物の確認・搬入作業

	<ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ロ) 郵便物の開封、汚損、紛失、盗難がないこと。</li> <li>ハ) 郵便物の通数確認について、誤りがないこと。</li> </ul> <p>④出願の受付作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ロ) 一部を除き、すべての志願票等について不備を解消すること。</li> <li>ハ) センターに回送すべき志願票等を漏れなくセンターに回送すること。</li> <li>ニ) 志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul> <p>⑤志願票のデータ化作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。</li> <li>ロ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ハ) 初回納品時の志願票データ「A」及び精査用志願票データ「B」の精度については誤入力率を各々2%以内とすること。</li> <li>ニ) 確認はがきの印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。</li> <li>ホ) センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。</li> <li>ハ) 志願票、志願者データ及び確認はがきデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul> <p>⑥受験票等の印刷・印字及び発送作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 受験票の印刷・印字出力及び「受験上の注意」の印刷を仕様書どおりに行うこと。</li> <li>ロ) センターに回送すべき受験票を漏れなくセンターに回送すること。</li> <li>ハ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ニ) 受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul> <p>⑦試験実施に係る資料等の印刷・印字作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。</li> <li>ロ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ハ) 試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul> <p>⑧出願書類等の廃棄作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) センターから受領した上記出願書類等を仕様書どおりに廃棄すること。</li> <li>ロ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> </ul> <p>(2)成績開示業務</p> <p>①成績開示変更届のデータ入力作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。</li> <li>ロ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ハ) 初回納品時の成績開示変更届データ「A」及び精査用成績開示変更届データ「B」の精度については誤入力率を2%以内とすること。</li> <li>ニ) 成績開示変更届及び成績開示変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul> <p>②成績開示に係る通知書の作成・発送作業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ) 成績開示通知書の印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。</li> <li>ロ) 実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。</li> <li>ハ) センターに回送すべき上記成績開示通知書を漏れなくセンターに回送すること。</li> <li>ニ) 印刷・印字出力した成績開示通知書の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。</li> </ul>
--	---

## 2 受託事業者決定の経緯

入札参加者（3者）から提出された企画書について、センターに設置した外部有識者からなる民間競争入札評価委員会において審査し、平成21年8月20日に開札を行った結果、上記受託事業者が落札者となった。

## II 評価

### 1 評価方法について

センターから提出された平成23年3月末時点における実施状況についての報告（別添）に基づき、サービスの質の確保、実施経費等の観点から、実績評価を行うものとする。

### 2 対象公共サービスの実施内容に関する評価

#### (1) サービスの質についての実施状況

##### ① 出願受付業務

##### ア 受験案内の印刷・送付作業

仕様書どおり、指定された送付場所、部数、期日を厳守し、印刷・送付作業が適切に実施されている。

##### イ 試験室データの作成作業等

試験室データの作成作業については、平成21年度のみ10月上旬に実施。22年度以降は7月中旬に実施することとしている。

データの誤入力率は、【表1】のとおりであり、確保されるべきサービスの質として設定されている2%以内に収まっている。

誤入力の修正については、すべて迅速に対応し、スケジュール上の遅れは生じていない。

【表1】試験室データ誤入力率

	20年度 (センター)	21年度 (受託事業者)	22年度 (受託事業者)
誤入力率	0.73%	0.41%	0.38%
誤入力件数/総入力件数	64/8,786件	36/8,758件	33/8,785件

##### ウ 出願関係郵便物の確認・搬入作業

スケジュールを遵守し、郵便物の紛失等は発生しておらず、適切、正確に作業が実施されている。

平成21年度の経験を踏まえ、22年度には、出願宛先支店を郵便事業株式会社銀座支店から、代々木支店に変更することを提案し実行した。このことにより、センターまでの輸送時間が飛躍的に短縮された。また、銀座支店では狭かった受領・通数確認スペースが広くなり、センターへの輸送を1日2回から1回の実施で対応できた。

#### エ 出願の受付作業

民間事業者で解消することとされている志願表等の不備は平成21年度に396件、22年度に632件あった。不備処理班として1名の担当者（繁忙期は3名）を置いて対応し、すべての不備を解消している。また、センターに回送すべき志願票等は漏れなく処理されている。この作業における志願票等の紛失等は発生しておらず、サービスの質を確保したと評価できる。

#### オ 志願票のデータ化作業

平成21年度に561,240件、22年度に566,935件の志願票のデータ化作業を行った。誤入力率は、【表2】のとおり確保されるべきサービスの質として設定されている2%以内に収まっており、作業の精度について評価できる。

確認はがきの印刷・印字出力等も適切に行われ、センターの点検によって指摘された誤りについても、その指摘どおりに修正し、スケジュールに遅れは生じなかった。

なお、確認はがきに記載された個人情報を隠すための仕様を民間事業者の改善提案に基づき変更した。このことにより、確認はがきの印刷・印字出力等の作業効率が向上したとの報告であり、民間事業者の創意工夫が発揮された点として評価できる。

【表2】 志願票データ誤入力率

	20年度 (センター)	21年度 (受託事業者)	22年度 (受託事業者)
志願票データ「A」			
誤入力率	1.03%	1.07%	1.21%
誤入力件数/総入力件数	5,671/552,550件	5,995/561,240件	6,847/566,935件
精査用志願票データ「B」			
誤入力率	0.96%	0.76%	0.80%
誤入力件数/総入力件数	5,323/552,550件	4,285/561,240件	4,559/566,935件

#### カ 受験票等の印刷・印字及び発送作業

平成21年度は「受験票」を553,368枚、「受験上の注意」を616,000部、22年度には、それぞれ558,984枚、618,000部の印刷を仕様書どおりに行っている。また、不達となった受験票は漏れなくセンターに回送していることから、当該業務が適切に行われたと評価できる。

#### キ 試験実施に係る資料等の印刷・印字作業

当該作業において特段の問題は報告されておらず、サービスの質が確保されていると評価できる。

ク 出願書類等の廃棄作業

センター職員立ち会いの下、出願書類等の廃棄処分がなされたとのことであり、適切に作業が実施されたと評価できる。

② 成績開示業務

ア 成績開示変更届のデータ入力作業

センターから受領した成績開示変更届のデータ入力については、規格どおりに作業が行われた。その際の誤入力率は【表3】のとおり確保されるべきサービスの質として設定されている2%以内に収まっており、精度が確保されたといえる。

【表3】成績開示変更届データ誤入力率

	20年度 (センター)	21年度 (受託事業者)	22年度 (受託事業者)
成績開示変更届データ「A」			
誤入力率	2.00%	1.53%	1.22%
誤入力件数/総入力件数	36/1,802件	25/1,633件	20/1,634
精査用成績開示変更届データ「B」			
誤入力率	1.66%	1.16%	0.67%
誤入力件数/総入力件数	30/1,802件	19/1,633件	11/1,634

イ 成績開示に係る通知書の作成・発送作業

平成21年度試験分については、22年4月に409,677人分の成績開示通知書を印刷、送付したが、仕様書どおり、かつ、スケジュールどおりに作業が行われている。通知書が不達だった場合には、その原因を調査の上再送付しているが、不達が解消されない通知書2,270件については、漏れなくセンターに回送している。

22年度試験分については、23年4月に実施（今回の調査対象外）。

(2) 評価

各業務の実施状況において、大きなミスやトラブルは報告されておらず、確保されるべきサービスの質として設定された水準をすべて達成できたものと評価できる。

### 3 実施経費についての評価

平成21年10月から24年4月までの2年7ヶ月間の事業として民間競争入札を実施し、入札者が提出した企画提案書及び入札金額について、総合評価（加算方式（技術点300点、価格点100点））を行い、落札者を決定した。落札額は、従来の実施経費（平成20年度実績値の2年7か月分）の99%に相当する462,000,000円（税込）となっている。金額にして、約166万円の経費削減となる。

従来経費：463,659,939円（平成20年度実績値の2年7ヶ月分）

契約額：462,000,000円（平成21年10月～24年3月）

削減額：1,659,939円

なお、年度単位で比較した場合は以下のとおりであり、平成22年度においては約374万円の経費削減、23年度においては約407万円の経費削減となっている。

	[平成22年度]	[平成23年度]	
従来経費	179,928,313円	179,928,313円	（平成20年度実績値）
契約額	176,187,587円	175,855,576円	
削減額	3,740,726円	4,072,737円	

注)平成21年度及び24年度については、それぞれ6か月、1か月の実施期間であり、1年間で循環する作業工程の一部しか実施していないため、年度比較の対象としない。

### 4 評価のまとめ

各種書類の印刷・送付作業の適正な実施や、各種データ化作業において誤入力率を2%以内に収める等、確保されるべき公共サービスの質をすべて達成しており評価できる。また、出願関係郵便物の確認・搬入作業において出願宛先となる郵便事業株式会社支店の変更提案や、志願票データ化作業における確認はがきの仕様を変更する提案及びその実施は、作業効率の向上につながり、民間事業者の創意工夫が発揮されている。

実施経費については、全期間で比較した場合、従来に比べ約166万円の削減、年度単位で比較した場合は2か年度で合計780万円程度の削減となっている。

以上のことから、次期事業についても引き続き民間競争入札を実施することが適切と考えられる。

なお、現行の契約期間は、平成21年10月から24年4月とされているが、次期事業実施の際には、対象業務の一連の作業工程がほぼ1年間で循環するものとなっていることを踏まえ、より適切な始期と終期を設定する必要がある。

以上

平成 23 年 6 月 7 日  
独立行政法人大学入試センター

## 民間競争入札実施事業

### 大学入試センター試験の出願受付業務・成績開示業務の実施状況について

(平成 21 年 10 月 1 日～平成 23 年 3 月 31 日)

#### I 事業の概要

##### 1 委託業務の内容

###### (1) 出願受付業務

約 55 万人の大学入試センター試験（以下「センター試験」という。）の受験志願者（以下「志願者」という。）にかかる，出願受付，志願票のデータ化，受験票の発送，及び全国約 740 箇所の試験場（約 8,800 試験室）での試験実施に係る資料等の作成までの一連の作業を行う。

また，この業務に付帯して，試験室データの作成，受験案内の印刷，センター試験利用大学等への受験案内の送付，出願関係書類等の廃棄を行う。

- ① 受験案内の印刷・送付作業
- ② 試験室データの作成作業等
- ③ 出願関係郵便物の確認・搬入作業
- ④ 出願の受付作業
- ⑤ 志願票のデータ化作業
- ⑥ 受験票等の印刷・印字及び発送作業
- ⑦ 試験実施に係る資料等の印刷・印字作業
- ⑧ 出願書類等の廃棄作業

###### (2) 成績開示業務

センター試験受験者のうち成績の開示を希望する約 40 万人に対し，大学入試センター（以下「センター」という。）が作成した成績開示データに基づき，成績通知書を作成し送付する。

- ① 成績開示変更届のデータ入力作業
- ② 成績開示に係る通知書の作成・発送作業

##### 2 業務委託期間

平成 21 年 10 月 1 日～平成 24 年 4 月 30 日

##### 3 受託事業者

教育測定研究所 共同事業体

II 確保されるべきサービスの質の達成状況及び業務の実施状況

委託業務	確保されるべきサービスの質	確保されるべきサービスの質の達成状況及び業務の実施状況	
		21年度 (21年10月～22年3月)	22年度 (22年4月～23年3月)
(1) 出願受付業務			
① 受験案内の印刷・送付作業	印刷・製本・梱包・送付を仕様書どおりに行うこと。	/	仕様書どおりに 920,000 部印刷し、製本、梱包、送付できた。
	送付に当たり、指定の場所、部数、期日を厳守すること。		指定の場所、部数、期日を厳守し送付できた。
② 試験室データの作成作業等	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	仕様書に示された規格どおり、8,758 試験室についてデータ化できた。	仕様書に示された規格どおり、8,785 試験室についてデータ化できた。
	初回納品時の誤入力率を 2%以内とすること。	誤入力率 0.41% で作業できた。 (誤入力数 36 件 / 総入力数 8,758 件)	誤入力率 0.38% で作業できた。 (誤入力数 33 件 / 総入力数 8,785 件)
	センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。	指摘どおり修正できた。	指摘どおり修正できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。
③ 出願関係郵便物の確認・搬入作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。  10月1日～16日(4,11,12日を除く。)郵便事業株式会社銀座支店で出願郵便物を受領、毎日 11:00、15:00 に輸送トラックでセンターに搬入した。	スケジュールどおり実施できた。  10月1日～16日(3,10,11日を除く。)郵便事業株式会社代々木支店で出願郵便物を受領、毎日 11:00 に輸送トラックでセンターに搬入した。
	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難がないこと。	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難はなかった。	郵便物の開封、汚損、紛失、盗難はなかった
	郵便物の通数確認について、誤りがないこと。	117,530 通の郵便物について誤りなく通数確認できた。	121,262 通の郵便物について誤りなく通数確認できた。

④ 出願の 受付作業	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	毎日、センター担当者と作業の進捗状況を確認し、スケジュールどおりに作業が実施できた。	毎日、センター担当者と作業の進捗状況を確認し、スケジュールどおりに作業が実施できた。
	センターに回送すべきもの以外のすべての志願票等について不備を解消すること。	不備処理班として1人（繁忙期3人）を充て、396件の不備を解消できた。	不備処理班として1人（繁忙期3人）を充て、632件の不備を解消できた。
	センターに回送すべき志願票等を漏れなくセンターに回送すること。	回送すべき志願票等を漏れなく回送できた。  ○身体に障害のある志願者に係る志願票（卒見） 911枚 ○身体に障害のある志願者に係る志願票（既卒） 377枚 ○高等学校等卒業以外の出願資格に係る志願票 6,567枚	回送すべき志願票等を漏れなく回送できた。  ○身体に障害のある志願者に係る志願票（卒見） 954枚 ○身体に障害のある志願者に係る志願票（既卒） 437枚 ○高等学校等卒業以外の出願資格に係る志願票 6,352枚
	志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。	志願票等の汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑤ 志願票 のデータ 化作業	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	561,240枚の志願票について仕様書に示された規格どおりデータ化できた。	566,935枚の志願票について仕様書に示された規格どおりデータ化できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。
	初回納品時の志願票データについては誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の志願票データ A 実績 1.07%（誤入力数 5,995件／総入力数 561,240件） ○精査用志願票データ B 実績 0.76%（誤入力数 4,285件／総入力数 561,240件）	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の志願票データ A 実績 1.21%（誤入力数 6,847件／総入力数 566,935件） ○精査用志願票データ B 実績 0.80%（誤入力数 4,559件／総入力数 566,935件）
	確認はがきの印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	仕様書では、個人情報記載部分をカバーシールで覆うこととされていたが、これに代えて、圧着はがきを採用することで、より効率的に印刷・印字出力等を実施できた。  ○確認はがき印字枚数 553,368枚 ○高校あて発送件数 437,557件 ○個人あて発送件数 115,811件	仕様書では、個人情報記載部分をカバーシールで覆うこととされていたが、これに代えて、圧着はがきを採用することで、より効率的に印刷・印字出力等を実施できた。  ○確認はがき印字枚数 558,984枚 ○高校あて発送件数 439,605件 ○個人あて発送件数 119,379件
	志願者からの修正指示に基づく志願者データ更新について、セ	指摘どおり修正できた。	指摘どおり修正できた。

	センターの点検によって指摘された誤りをすべて修正すること。		
	志願票、志願者データ及び確認はがきデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難なく作業できた。	汚損、紛失、漏洩、盗難なく作業できた。
⑥ 受験票等の印刷・印字及び発送作業	受験票の印刷・印字出力及び「受験上の注意」の印刷を仕様書どおりに行うこと。	553,368人分の「受験票」について仕様書どおり印刷できた。 「受験上の注意」616,000部を仕様書どおり印刷できた。	558,984人分の「受験票」について仕様書どおり印刷できた。 「受験上の注意」618,000部を仕様書どおり印刷できた。
	センターに回送すべき受験票を漏れなくセンターに回送すること。	調査・再送しても不達が解消しなかった、受験票25人分をセンターに漏れなく回送できた。	調査・再送しても不達が解消しなかった、受験票34人分をセンターに漏れなく回送できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。
	受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。	受験票及び受験票データの汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑦ 試験実施に係る資料等の印刷・印字作業	印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	仕様書どおりに印刷・印字出力できた。 ○受験状況調査票（A票） 104,280枚 ○受験状況調査票（B票） 89,600枚 ○受験状況調査票（C票） 8,180枚 ○入学志願者名簿 69,328枚 ○受験番号（机上） 23,057枚	仕様書どおりに印刷・印字出力できた。 ○受験状況調査票（A票） 106,200枚 ○受験状況調査票（B票） 91,400枚 ○受験状況調査票（C票） 8,000枚 ○入学志願者名簿 66,064枚 ○受験番号（机上） 23,291枚
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。
	試験実施に係る資料等及びセンターから受領したデータの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
⑧ 出願書類等の廃棄作業	センターから受領した出願書類等を仕様書どおりに廃棄すること。	職員の立ち会いの下、仕様書どおり廃棄できた。 ○解答用紙及び志願票・写真票 28.03 t	職員の立ち会いの下、仕様書どおり廃棄できた。 ○解答用紙及び志願票・写真票 35.45 t
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。

(2) 成績開示業務			
① 成績開示変更届のデータ入力作業	仕様書に示す規格どおりにデータ化すること。	仕様書に示された規格どおりにデータ化できた。	仕様書に示された規格どおりにデータ化できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	スケジュールどおり実施できた。	スケジュールどおり実施できた。
	初回納品時の成績開示変更届データについては誤入力率を2%以内とすること。	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の成績開示変更届データ A 実績 1.53% (誤入力数 25 件 / 総入力数 1,633 件) ○精査用成績開示変更届データ B 実績 1.16% (誤入力数 19 件 / 総入力数 1,633 件)	誤入力率を2%以内で作業できた。 ○初回納品時の成績開示変更届データ A 実績 1.22% (誤入力数 20 件 / 総入力数 1,634 件) ○精査用成績開示変更届データ B 実績 0.67% (誤入力数 11 件 / 総入力数 1,634 件)
	成績開示変更届及び成績開示変更届データの汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。
② 成績開示に係る通知書の作成・発送作業	成績開示通知書の印刷・印字出力を仕様書どおりに行うこと。	(未実施)	409,677 人分の成績開示通知書を仕様書どおり印刷できた。
	実施計画に定めるスケジュールを厳守すること。	(未実施)	スケジュールどおり実施できた。
	センターに回送すべき成績開示通知書を漏れなくセンターに回送すること。	(未実施)	調査・再送しても不達が解消しなかった、成績開示通知書 2,270 人分をセンターに漏れなく回送できた。
	印刷・印字出力した成績開示通知書の汚損、紛失、漏洩、盗難がないこと。	(未実施)	汚損、紛失、漏洩、盗難はなかった。

### Ⅲ 民間事業者からの提案による改善実施事項

次のような事項について、民間事業者からの提案により改善した。

#### 1 確認はがきの仕様変更 (平成 21 年度から)

確認はがきに記載された個人情報を隠すために、従前は当該部分の上からカバーシールを貼り付けていたが、当該部分を覆うように一部分を折り曲げて圧着する仕様のはがきを採用した。このことにより、確認はがき発行作業の効率が向上した。

## 2 出願宛先支店の変更（平成 22 年度から）

志願者は所定の郵便事業株式会社支店留置で志願票を提出（郵送）し、民間事業者が当該支店で志願票を受領し通数確認をした上、センターに搬入するものとされているが、この出願宛先支店を銀座支店から代々木支店に変更した。このことにより、センターまでの輸送時間が飛躍的に短縮できた。また、銀座支店では狭隘だった受領・通数確認等の作業スペースが広くなり、午前・午後 2 回だったセンターへの輸送を午前 1 回ですませることができた。

## IV 実施経費の状況及び評価

民間競争入札による業務委託経費を従来の実施経費（平成 20 年度実績）と比較したところ、契約期間終了時点では、1,659,939 円の経費削減となる。

	平成 21 年度 平成 21 年 10 月～ 平成 22 年 3 月 (6 か月)	平成 22 年度 平成 22 年 4 月～ 平成 23 年 3 月 (12 か月)	平成 23 年度 平成 23 年 4 月～ 平成 24 年 3 月 (12 か月)	平成 24 年度 平成 24 年 4 月 (1 か月)	計
①業務委託経費	106,007,828 円	176,187,587 円	175,855,576 円	3,949,009 円	462,000,000 円
②従来の実施経費（平成 20 年度実績）	97,551,532 円	179,928,313 円	179,928,313 円	6,251,781 円	463,659,939 円
①－②	8,456,296 円	△3,740,726 円	△4,072,737 円	△2,302,772 円	△1,659,939 円

## V まとめ

### 1 評価委員会での意見等

民間事業者による事業の実施状況を、当センターに設置されている「民間競争入札評価委員会」に報告し、「民間競争入札の対象事業については、同制度導入以前と同等程度の水準で的確に遂行されたものとする」という意見を得た。

### 2 評価の総括

確保されるべき公共サービスの質の維持、経費の削減、さらには、複数の単年度業務を一つの複数年度契約にまとめたことなどによる事務処理の効率化が達成できた。

### 3 今後の方針

本契約の最終年度となる平成 23 年度は、センターと受託事業者との間でのより密接な、連絡・協議を通じて、一層円滑な業務の遂行を図りたい。